

平成 24 年度

白石町当初予算説明資料

主要事項内容説明書

両面印刷用白紙ページ

目 次

各 課 の 主 要 事 項 説 明

【総務課】

白石町長・町議会議員選挙費	・・・ 1
消防施設整備費	・・・ 2
防災費	・・・ 3

【企画課】

生活交通路線欠損補助事業	・・・ 4
コミュニティタクシー運行事業	・・・ 5

【住民課】

後期高齢者医療事業	・・・ 6
-----------	-------

【保健福祉課】

子どものための手当	【新】・・・ 7
地域子育て支援事業	・・・ 8
子どもの医療事業	【新】・・・ 9
小学生・中学生医療事業	【新】・・・ 10
母子健康診査事業	・・・ 11
予防接種事業	・・・ 12

【長寿社会課】

敬老の日記念事業	・・・ 13
障害者自立支援給付費	・・・ 14
相談支援事業	・・・ 15

【生活環境課】

太陽光発電導入推進事業	・・・ 16
-------------	--------

【水道課】

水道事業会計への補助金	・・・ 17
上水道一部事務組合への出資事業	・・・ 18

【産業課】

戸別所得経営安定推進事業費	【新】・・・ 19
農業振興地域整備計画費	【新】・・・ 20
さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業	・・・ 21
戸別所得補償制度推進事業費	【新】・・・ 22
新規就農総合支援事業	【新】・・・ 23
スクミリンゴガイ駆除対策事業	【新】・・・ 24
さかの強い園芸農業確立対策事業	・・・ 25
繁殖雌牛導入事業	・・・ 26
まちの元気づくりプロジェクト支援事業	【新】・・・ 27
しろいしブランド確立対策事業	・・・ 28
まちおこし事業補助金	・・・ 29
白石町情報発信事業	・・・ 30

【農村整備課】

筑後川下流土地改良事業推進事業費	・・・ 31
基幹水利施設ストックマネジメント事業	・・・ 32
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	・・・ 33
県営地域水田農業支援緊急整備事業	・・・ 34
県営地域水田農業再編緊急整備事業	・・・ 35
農地・水保全管理支払交付金事業・共同活動支援事業	・・・ 36
農地・水保全管理支払交付金事業・向上活動支援事業	・・・ 37
農道維持費	・・・ 38
新有明漁港整備事業	・・・ 39

【土木管理課】

橋梁長寿命化計画策定事業	・・・	40
住宅リフォーム緊急整備事業	・・・	41
町営住宅建設事業	・・・	42

【建設課】

道路新設改良費	・・・	43
社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良費)	・・・	44～45

【学校教育課】

新学習指導移行措置事業	・・・	46
ICT支援事業	・・・	47
学校教育支援員配置事業	【新】・・・	48
適応指導教室事業	・・・	49
小学校・学校施設改修費	・・・	50
中学校・学校施設改修費	・・・	51

【生涯学習課】

小学生リーダー育成事業	・・・	52
町スポーツ大会費	・・・	53
ロードレース大会費	・・・	54

【平成24年度過疎債充当事業一覧】

・・・ 55

【しろいしみのり枠事業一覧】

公用車管理費(電気自動車購入)	【新】・・・	57
ご当地ナンバー作成事業	【新】・・・	58
しろいし食育まつり事業	【新】・・・	59
プレミアム付き商品券発行事業	・・・	60

《特別会計予算主要事項説明》

【住民課】

国民健康保険特別会計	・・・	61～66
後期高齢者医療特別会計	・・・	67

【下水道課】

農業集落排水特別会計	・・・	68
特定環境保全公共下水道特別会計	・・・	69

【水道課】

水道事業会計	・・・	70
--------	-----	----

単位:千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						
款	2	項	4	目	6	細事業名	白石町長・町議会議員選挙費		所属	総務課	
目 名 称	白石町長・町議会議員選挙費										
目の 予 算 額	19,945					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	19,945					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	70・71
	前年度当初 0 前年度最終 0									19,945	新規

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)	基本構想 第 5 章	参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	-------------

1 目的 平成25年2月5日任期満了に伴う白石町長及び白石町議会議員選挙の執行経費として必要な予算を計上し、町選挙管理委員会が行う選挙に関する事務を適切に執行する。

2 事業内容

(1)任期満了日	・平成25年2月5日(火)
(2)選挙期日	・平成25年1月予定
(3)告示日	・平成25年1月予定

3 予算額

節	金額	説 明	
1. 報酬	693	投票管理者(期日前投票・投票当日)	184
		投票立会人(期日前投票・投票当日)	355
		選挙長	22
		選挙立会人	132
3. 職員手当等	8,935	時間外勤務手当(期日前投票事務、投開票事務、選管選挙事務)	8,923
		管理職員特別勤務手当	12
7. 賃金	244	選挙事務日々雇用職員雇用賃金	244
9. 旅費	24	選管委員出席費用弁償	24
11. 需用費	3,381	消耗品費(候補者表示物、ポスター掲示場、投開票事務用品等)	2,334
		燃料費(投票所用灯油代)	39
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代等)	70
		印刷製本費(投票用紙、入場券、選挙公報等)	938
12. 役務費	3,348	通信運搬費(入場券等郵便料金、選挙運動用はがき、架設電話料等)	2,775
		手数料(枚数計算機等点検手数料、指定施設不在者投票手数料)	573
13. 委託料	1,979	ポスター掲示場設置管理撤去委託料	1,748
		選挙公報配布委託料	231
14. 使用料及び賃借料	171	会場借上料	30
		その他借上料(事務機器等借上料)	141
18. 備品購入費	1,170	投票用紙計数機	1,170
合 計	19,945		

4 事業の効果 白石町長及び白石町議会議員選挙事務を適切に執行する。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	9	項	1	目	3	細事業名	消防施設整備費		所属	総務課	
目 名 称	消防施設費										
目の予算額	22,630					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	16,503					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	144・145
	前年度当初	16,903	前年度最終	14,344					16,503	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 5 章	参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】	基本計画 第 1 節	参加と交流の促進
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

防災力の整備指針に基づき、消防資機材の整備、消防施設の整備強化を図り、住民の生命財産を守る消防防災体制を確立する。

2 事業内容

車両・格納庫更新計画に基づき、下記消防資機材を更新する。

- ・小型動力ポンプ 1台
- ・積載車 1台
- ・消防格納庫(移転) 1ヶ所
- ・格納庫外構工事 1ヶ所
- ・消防用ホース乾燥塔 1カ所
- ・消火栓設置 3ヶ所
- ・消防用ホース格納箱 5ヶ所

3 予算額

役務費	水道検査手数料	5千円
	建築確認・完了検査手数料	31千円
委託料	消防格納庫設計監理委託料	800千円
工事請負費	消防格納庫建設工事	6,000千円
	消防格納庫外構工事	1,500千円
	消防用ホース乾燥塔設置工事	450千円
	旧格納庫解体工事	400千円
備品購入費	消防ポンプ及び積載車	4,650千円
	消防用ホース格納箱	500千円
投資及び出資金	消火栓設置出資金	2,100千円
負担金補助及び交付金	水道加入負担金	67千円

4 事業の効果

消防施設の更新又は整備に伴い、消防力水準の向上を図ることができる。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																																		
款	09	項	01	目	04	細事業名	防災費			所属	総務課																														
目 名 称	防災費																																								
目の予算額	7,056					財 源 内 訳					予算書頁																														
予 算 額	2,959					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	145・146																														
	前年度当初	2,003			前年度最終	2,003					2,959	継 続																													
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備																															
<p>1 目的 白石町地域防災計画に基づいた防災対策を計画的に行うものであり、下記事業により町民の安全安心を与えとともに防災意識の啓発を行う。</p> <p>2 事業内容 防災会議・・・防災計画のチェック及び検討。 防災訓練・・・県総合訓練への参加及び町防災訓練の開催。 防災啓発・・・広報又はホームページによる情報提供、出前講座による防災意識の啓発。 災害時用の備蓄品・・・災害に備えて食糧等を備える。</p> <p>3 予算額</p> <table border="0"> <tr> <td>防災会議委員報酬・費用弁償</td> <td>49千円</td> <td>(6,000円+1,000)×7人=49,000円</td> </tr> <tr> <td>防災用消耗品</td> <td>250千円</td> <td>災害事前対策用消耗品(電池、水防用品等)</td> </tr> <tr> <td>防災訓練用PR用品</td> <td>45千円</td> <td>150円×300人=45,000円</td> </tr> <tr> <td>災害時用備蓄品</td> <td>761千円</td> <td>水(2ℓ)367円×600本=220,200円 アルファ米300円×600人×3食=540,000円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>378千円</td> <td>避難判断マニュアル 9,000部×40円×1.05=378,000円</td> </tr> <tr> <td>緊急電話通信料</td> <td>72千円</td> <td>3,000円×2回線×12月</td> </tr> <tr> <td>災害対策用機械借上料</td> <td>46千円</td> <td>(バックホー)4,600円×10時間=46,000円</td> </tr> <tr> <td>災害対策用原材料</td> <td>32千円</td> <td>(土)3,200円×10㎡=32,000円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>1,266円</td> <td>放射線線量計(表面汚染測定760,000円、線量率測定441,000円、アルミ収納ケース65,000円)</td> </tr> <tr> <td>水難救済会負担金</td> <td>60千円</td> <td>60,000円</td> </tr> </table> <p>4 事業の効果 初動体制の確立、町民への情報提供の充実又は防災の啓発に努めることにより、災害を最小限に抑えることができる。</p>												防災会議委員報酬・費用弁償	49千円	(6,000円+1,000)×7人=49,000円	防災用消耗品	250千円	災害事前対策用消耗品(電池、水防用品等)	防災訓練用PR用品	45千円	150円×300人=45,000円	災害時用備蓄品	761千円	水(2ℓ)367円×600本=220,200円 アルファ米300円×600人×3食=540,000円	印刷製本費	378千円	避難判断マニュアル 9,000部×40円×1.05=378,000円	緊急電話通信料	72千円	3,000円×2回線×12月	災害対策用機械借上料	46千円	(バックホー)4,600円×10時間=46,000円	災害対策用原材料	32千円	(土)3,200円×10㎡=32,000円	備品購入費	1,266円	放射線線量計(表面汚染測定760,000円、線量率測定441,000円、アルミ収納ケース65,000円)	水難救済会負担金	60千円	60,000円
防災会議委員報酬・費用弁償	49千円	(6,000円+1,000)×7人=49,000円																																							
防災用消耗品	250千円	災害事前対策用消耗品(電池、水防用品等)																																							
防災訓練用PR用品	45千円	150円×300人=45,000円																																							
災害時用備蓄品	761千円	水(2ℓ)367円×600本=220,200円 アルファ米300円×600人×3食=540,000円																																							
印刷製本費	378千円	避難判断マニュアル 9,000部×40円×1.05=378,000円																																							
緊急電話通信料	72千円	3,000円×2回線×12月																																							
災害対策用機械借上料	46千円	(バックホー)4,600円×10時間=46,000円																																							
災害対策用原材料	32千円	(土)3,200円×10㎡=32,000円																																							
備品購入費	1,266円	放射線線量計(表面汚染測定760,000円、線量率測定441,000円、アルミ収納ケース65,000円)																																							
水難救済会負担金	60千円	60,000円																																							

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	生活交通路線欠損補助			所属	企画課
目 名 称	地域づくり推進費										
目の 予算額	28,166					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	4,176					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59
	前年度当初	4,099	前年度最終	3,664					4,176	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実
-------------------------------	--	---------------	------------------------	---------------	---------------

1 目的

地域住民の生活に必要なバス路線を維持するため、生活交通路線の運行を行う乗合バス事業者(祐徳バス)に対し沿線自治体で補助金を交付する。
※平均乗車密度が5人未満の路線については、国の補助対象経費が減額されるため、その減額分を沿線自治体で負担するもの。

2 事業内容

佐賀線(祐徳神社前 ~ 山口駅前 ~ 佐賀駅バスセンター 37.5キロ 平日11.0回 土日祝11.0回)

●平成24年度自治体別欠損見込額

路線	乗車密度	佐賀市	小城市	江北町	白石町	鹿島市	大町町	武雄市	合計
①(区間キロ数 祐徳~佐賀)		(10.6k)	(5.3k)	(5.5k)	(8.7k)	(7.4k)	—	—	37.5K
②(区間キロ数 武雄~佐賀)		(10.6k)	(5.3k)	(4.3k)	—	—	(4.5k)	(9.6k)	34.3K
① 佐賀線(祐徳神社~佐賀BC)	1.9	5,089	2,543	2,641	4,176	3,552	—	—	18,001
② 武雄線(武雄~佐賀BC)	2	5,159	2,579	2,093	—	—	2,190	4,867	16,888
合計		10,248	5,122	4,734	4,176	3,552	2,190	4,867	34,889

補助金については、関係市町(4市・3町)でのキロ程により按分する。

運行主体:祐徳バス株

3 予算額

負担金、補助及び交付金 4,176千円(1路線分)

4 事業の効果

自家用車による移動に依存した状況においては、少子高齢化のさらなる進展により、今後、身近な移動手段の確保に対する要求と不安が、ますます高まることが予想される。その様な中で、白石町民の足として、生活に必要なバス路線の確保をすることにより、将来も安心して暮らせる町を目指す。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円																																												
款	2	項	1	目	8	細事業名	コミュニティタクシー運行事業			所属	企画課																																							
目 名 称	地域づくり推進費						財 源 内 訳																																											
目 の 予 算 額	28,166					予 算 書 頁																																												
予 算 額	15,256					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59																																							
	前年度当初	15,479	前年度最終	13,379			12,000		3,256	継 続																																								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実																																										
<p>1 目的</p> <p>合併後、新しい町の地域生活の向上や町の活性化などのために地域生活交通の確保が必要であり、新町の一体化を強化するとともに、利用者のニーズや利用実態を踏まえ、地域の実情に応じた生活交通の確保、輸送体系の確立を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>道路運送法の規定に基づき、地域公共交通会議において、地域における需要に応じた町民の生活に必要な公共交通の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議・決定し、コミュニティタクシーの運行事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の開催(コミュニティタクシーの運行事業の実施に必要な事項を協議する会議の開催) ・白石町内コミュニティタクシー運行事業 (定時定路線型…牛間田横手線、福富線)(デマンド型…町内全域を4エリアに分けて運行) <p>3 予算額</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>地域公共交通会議委員報償</td> <td>5,400円×11名×2回=118,800円≒119千円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>地域公共交通会議研修(福岡市)</td> <td>9,200円×2名×1回=18,400円≒19千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>印刷製本費 時刻表印刷</td> <td>6.55円×9,000枚×2回=117,900円≒118千円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助 及び交付金</td> <td>コミュニティタクシー運行補助金</td> <td>15,000,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・定時定路線型(いこカー)運行費</td> <td>8,000,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>283.5km(1日運行距離)×137円(1km当たり単価)×247日(H24年4月～H25年3月運行日数)=9,593,357円…運行経費①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>マグネットシール等消耗品費100,000円+運行認可申請手数料100,000円=200,000円…その他経費②</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>200円(運賃)×39人(1日当たり利用者)×247日=1,926,600円…事業収入③</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①+②-③=7,866,757円≒8,000,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・デマンド型(予約制いこカー)運行費</td> <td>7,000,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>750,000円(1ヶ月タクシーメーター料金)×12ヶ月=9,000,000円…運行経費①</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>300円(運賃)×600人(1ヶ月利用者数)×12ヶ月=2,160,000円…事業収入②</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>①-②=6,840,000円≒7,000,000円</td> <td></td> </tr> </table> <p>4 事業の効果</p> <p>新町の一体性を強化するとともに、付加価値の高い交通体系の整備・充実を目指すことができる。 自家用自動車の利用抑制に努め、二酸化炭素排出削減を図り、地球温暖化防止に努めることができる。</p>												報償費	地域公共交通会議委員報償	5,400円×11名×2回=118,800円≒119千円	旅 費	地域公共交通会議研修(福岡市)	9,200円×2名×1回=18,400円≒19千円	需用費	印刷製本費 時刻表印刷	6.55円×9,000枚×2回=117,900円≒118千円	負担金補助 及び交付金	コミュニティタクシー運行補助金	15,000,000円		・定時定路線型(いこカー)運行費	8,000,000円		283.5km(1日運行距離)×137円(1km当たり単価)×247日(H24年4月～H25年3月運行日数)=9,593,357円…運行経費①			マグネットシール等消耗品費100,000円+運行認可申請手数料100,000円=200,000円…その他経費②			200円(運賃)×39人(1日当たり利用者)×247日=1,926,600円…事業収入③			①+②-③=7,866,757円≒8,000,000円			・デマンド型(予約制いこカー)運行費	7,000,000円		750,000円(1ヶ月タクシーメーター料金)×12ヶ月=9,000,000円…運行経費①			300円(運賃)×600人(1ヶ月利用者数)×12ヶ月=2,160,000円…事業収入②			①-②=6,840,000円≒7,000,000円	
報償費	地域公共交通会議委員報償	5,400円×11名×2回=118,800円≒119千円																																																
旅 費	地域公共交通会議研修(福岡市)	9,200円×2名×1回=18,400円≒19千円																																																
需用費	印刷製本費 時刻表印刷	6.55円×9,000枚×2回=117,900円≒118千円																																																
負担金補助 及び交付金	コミュニティタクシー運行補助金	15,000,000円																																																
	・定時定路線型(いこカー)運行費	8,000,000円																																																
	283.5km(1日運行距離)×137円(1km当たり単価)×247日(H24年4月～H25年3月運行日数)=9,593,357円…運行経費①																																																	
	マグネットシール等消耗品費100,000円+運行認可申請手数料100,000円=200,000円…その他経費②																																																	
	200円(運賃)×39人(1日当たり利用者)×247日=1,926,600円…事業収入③																																																	
	①+②-③=7,866,757円≒8,000,000円																																																	
	・デマンド型(予約制いこカー)運行費	7,000,000円																																																
	750,000円(1ヶ月タクシーメーター料金)×12ヶ月=9,000,000円…運行経費①																																																	
	300円(運賃)×600人(1ヶ月利用者数)×12ヶ月=2,160,000円…事業収入②																																																	
	①-②=6,840,000円≒7,000,000円																																																	

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	後期高齢者医療事業			所属	住民課
目 名 称	老人福祉費										
目の 予算額	1,144,475					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	478,627					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	85・86
	前年度当初	444,548	前年度最終	454,378			75,417			403,210	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 5 節	社会保障の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------

1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保険の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。後期高齢者医療制度の被保険者は、75歳以上と65歳以上の障害認定を受けている者で、医療の給付等に関しても老人保健法に基づく医療と同様の診療が受けられる。

2 事業内容 町は、広域連合の経費負担、一定以上所得者分を除いた医療給付費の12分の1の定率負担、保険基盤安定制度の負担等が義務付けられている。

3 予算額	項 目	金 額	説 明	
	負担金	355,286	市町村定率負担(一般会計から広域連合特別会計へ納付・高確法第98条) 白石町分療養給付見込額 4,321,121千円－特定費用(3割負担分) 57,693千円＝負担対象額 4,263,428千円 負担対象額 4,263,428千円×定率負担 1/12 = 355,286千円	
	後期高齢者 医療特別 会計繰出金	123,341	徴収経費等事務費	特別会計の総務管理費120千円＋徴収費,1193千円＝1,313千円 その内徴収費に充当できる督促手数料分(70,000円)を控除して計上 1,243千円
			広域連合共通経費一般会計分	広域連合運営経費等(職員人件費、議会等) 均等割(10%)975千円＋人口割(45%)2,664千円＋高齢者人口割(45%)3,383千円 (県広域連合計 195,036千円の約3.60%) 7,022千円
			広域連合共通経費特別会計分	保険財政運営経費等(レセプト点検、保管、健診費用等) 均等割(10%)1,791千円＋人口割(45%)4,892千円＋高齢者人口割(45%)6,213千円 (県広域連合計 358,175千円の約3.60%) 12,896千円 被保険者証郵送代実費負担金 1,623,800千円
			保険基盤安定負担金	負担金対象額 100,556千円 63,882千円＋36,674千円 町負担(1/4) 25,139 低所得者軽減分＋被扶養者軽減分 県負担(3/4) 75,417
	計	478,627	県負担分は、一般会計で歳入し町負担と合わせて特別会計へ繰出、広域連合へ納付	

4 事業の効果 制度の円滑な運営に寄与する。

単位:千円

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計							
款	3	項	2	目	2	細事業名	子どものための手当事業費			所属	保健福祉課
目 名 称	児童福祉総務費									財 源 内 訳	
目の 予算 額	424,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	88
予 算 額	353,750					244,000	54,875			54,875	新規
前年度当初			531,945	前年度最終		469,570					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的
子どもを養育している者に子どものための手当(子ども手当)を支給することにより、次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資することを目的とする。

2 事業内容
支給対象は、0歳から中学校修了までの子どもで、支給月額は0歳から3歳未満及び3才から小学校終了までのうち第3子以降については15,000円、3才から小学校終了までのうち第1子・第2子及び中学生については10,000円とする。平成24年6月支給分から所得制限導入(案)がある。

※支給月額及び財源負担割合(右欄)

支給対象児童区分		月額	国	県	町
0歳～3歳未満	被用者	15,000	37/45	4/45	4/45
	非被用者	15,000	4/6	1/6	1/6
3歳以上～ 小学校修了前	第1子・第2子	10,000	4/6	1/6	1/6
	第3子以降	15,000	4/6	1/6	1/6
中学生		10,000	4/6	1/6	1/6
所得制限以上世帯(案)		5,000	4/6	1/6	1/6

※支給対象月 10ヶ月
(平成24年4月～平成25年1月)

3 予算額 20扶助費

支給対象児童区分		延べ人数	支給金額	国	県	町
0歳～3歳未満	被用者	3,500人	52,500,000円	43,166,667円	4,666,666円	4,666,667円
	非被用者	1,750人	26,250,000円	17,500,000円	4,375,000円	4,375,000円
3歳以上～ 小学校修了前	第1子・第2子	14,750人	147,500,000円	98,333,333円	24,583,333円	24,583,334円
	第3子以降	3,500人	52,500,000円	35,000,000円	8,750,000円	8,750,000円
中学生		7,500人	75,000,000円	50,000,000円	12,500,000円	12,500,000円
合 計		31,000人	353,750,000円	244,000,000円	54,874,999円	54,875,001円
(月平均対象児童数)		3,100人		69.0%	15.5%	15.5%

4 事業の効果
子どものための手当(子ども手当)を支給することにより、保護者の子育て支援に寄与することが出来る。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計						単位:千円	
款	3	項	2	目	5	細事業名	地域子育て支援事業			所属	保健福祉課
目 名 称	次世代対策費										
目の予算額	42,749					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	13,269					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	93
	前年度当初	12,570	前年度最終	12,570		6,634				6,635	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	----------

1 目的

子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整え、きめ細かな子育て支援サービスを提供し子育て支援機能の充実を図る。

2 事業内容

1 地域子育て支援拠点事業

常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。
事業形態 ひろば型、週5日(月曜日～金曜日) 利用時間:午前9時～午後5時

2 一時預かり事業(地域密着Ⅱ型)

家庭において一時的に保育に欠ける乳幼児について、一時的に必要な保育を行う。
事業形態 週5日(月曜日～金曜日) 利用時間 午前9時～午後5時 利用料(町内) 時間300円

白石町社会福祉協議会に事業委託、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。

(利用対象) 1. 地域子育て支援拠点事業 小学校就学前の子ども及びその親等
2. 一時預かり事業 生後 4ヶ月以上小学校就学前の子どもで、保育園・幼稚園に通園していない者

平成23年度利用状況(延べ人数)

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H23.4	194	252	446	10
H23.5	178	221	399	26
H23.6	276	337	613	73
H23.7	305	390	695	51
H23.8	329	492	821	68
H23.9	317	401	718	65
H23.10	243	305	548	84
H23.11	231	280	511	83
H23.12	213	268	481	98
H24.1	192	247	439	79
計	2,478	3,193	5,671	637

3 予算額

(千円)

節	事業名	金額	財源内訳				
			国庫支出金	県費	その他	一般財源	
13	委託料	地域子育て支援事業	13,269	6,634	0	0	6,635

財源内訳: 子育て支援交付金事業 国1/2、町1/2

4 事業の効果

子育て家庭の身近な拠り所として、異世代交流、父親の育児参加、地域コミュニティ活性化を実現できる場とする。

単位:千円

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計					所属	保健福祉課	
款	4	項	1	目	1	1			子どもの医療事業費		
目 名 称	保健衛生総務費										
目の予算額	192,547					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	55,517					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	96・97・98
	前年度当初	53,455	前年度最終	48,081			26,758		2,000	26,759	新規

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	----------

1 目的

出生から就学前子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。

2 事業内容

- ・出生から就学前までの子どもを対象に、保険給付の一部負担金から、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり、入院は最大1,000円、入院外は最大(1回目500円・2回目500円)の自己負担額を控除した額を助成する。ただし、薬局は一部負担金を助成する。
- ・今回拡大された3歳から就学前の現物給付分の医療費見込については、現在の乳幼児医療・幼児医療見込及び償還払いの申請率(0.6)、現物給付による医療費伸び率(1.2)、薬局を除く自己負担割合(0.6)等から行う。また、1医療機関あたりの月平均受診日数を2日以内として自己負担単価を750円で積算する。

①役務費(審査支払手数料)	3,142,000円	(単位:円)
0-3歳未満	15,000件 × @96.7円 × 10/12 ≒	1,208,000円
3-6歳	12,000件 ÷ 0.6 × 1.2 × @96.7円 × 10/12 ≒	1,934,000円
②扶助費(医療助成費)	48,375,000円	
0-3歳未満	[(29,500,000 + 2,700,000) - (15,000件 × 0.6 × @750)] × 10/12 ≒	21,208,000円
3-6歳	[(20,500,000 + 1,200,000) ÷ 0.6 × 1.2 - (24,000件 × 0.6 × @750)] × 10/12 ≒	27,167,000円

※子どもの医療は平成24年4月診療分から開始されるが、役務費及び扶助費の請求は診療月の2ヶ月後のため本年度は10ヶ月分の予算措置となる。

③繰出金

乳幼児医療分2,000,000円 × 2 = 4,000,000円

3 予算額

(千円)

節	予算額	財源内訳				内容
		県補助金	高額医療収入	その他	一般財源	
12 役務費	3,142					審査手数料(国保連・支払基金)
20 扶助費	48,375	26,758	2,000	0	26,759	H22実績,H23見込より推計
28 繰出金	4,000					現物給付に伴う国保財政影響分
計	55,517	26,758	2,000	0	26,759	

4 事業の効果

病気に感染しやすい乳幼児に対しての医療費助成をすることで、疾患の早期発見及び早期治療ができる。

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	4	項	1	目	1	小学生・中学生医療事業費				所属	保健福祉課	
目 名 称	保健衛生総務費											
目の 予算額	192,547					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	16,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98	
	前年度当初	3,500	前年度最終	2,500		0		13,000		3,000	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実			

1 目的

小学生、中学生の医療費の一部を助成することにより、疾病児童の早期受診促進及び保護者の経済的負担軽減を図り、小学生、中学生の保健の向上及び子育て支援体制の充実を目的とする。

2 事業内容

小学生・中学生を対象に、保険医療機関等において入院及び入院外の医療を受け、医療費の一部負担金を負担した場合は、当該一部負担金から自己負担金(入院・入院外別に、1月につき1,000円。ただし、薬局は除く。)を控除した額を助成する。支払方法は償還払いとする。

3 予算額

(千円)

節	予算額
20 扶助費	16,000
計	16,000

区分	所要額見込(千円)						備考
	対象件数	総医療費	一部負担(3割)A	自己負担額等B	助成基礎額A-B	入院外申請率60%	
入院	80件	12,000	3,600	1,000	2,600	2,600	継続
入院外	6,600件	96,700	29,000	6,600	22,400	13,400	新規
			32,600	7,600	25,000	16,000	

4 事業の効果

子どもの疾患(病気)の早期発見、早期治療及び家庭の経済的負担の軽減を図る。

区分	平成24年度 当初				会計	一般会計					単位:千円																								
款	4	項	1	目	1	細事業名	母子健康診査事業費				所属	保健福祉課																							
目 名 称	保健衛生総務費																																		
目 の 予 算 額	192,547					財源内訳					予算書頁																								
予 算 額	21,389 千円 前年度当初 20,710 前年度最終 20,710					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	95・96・98																								
							6,384			15,005	継 続																								
白石町総合計画 人と大地がうるおい輝く豊穡のまち			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節		保健・医療体制の充実																									
<p>1 目 的 妊婦・乳幼児期における身体の発達、精神発達を支援する。</p> <p>2 事業概要 ①妊婦健康診査票は、1人14枚交付する。 妊婦健康診査は、妊娠初期～妊娠23週まで(6か月末):1回/4週、妊娠24週～35週まで(9か月末):1回/2週、妊娠36週～:1回/1週 受診 ②集団健診:乳児健康診査(4～5か月児健診)、1歳6か月児健康診査(1歳7～8か月児)、3歳6か月児健康診査(3歳8～9か月児)を実施 ③個別健診(医療機関・小児科):乳児健康診査(9か月頃)を実施</p> <p>3 予 算 額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>説 明</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃 金</td> <td>看護師・歯科衛生士雇上</td> <td>704</td> </tr> <tr> <td>報 償 費</td> <td>小児科医・歯科医・耳鼻科医謝礼</td> <td>742</td> </tr> <tr> <td>需 用 費</td> <td>消耗品費</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>役 務 費</td> <td>審査支払手数料等</td> <td>348</td> </tr> <tr> <td>委 託 料</td> <td>健康診査委託料</td> <td>19,374</td> </tr> <tr> <td>扶 助 費</td> <td>妊婦健診扶助費(償還払)</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>21,389</td> </tr> </tbody> </table> <p>妊婦健康診査 ・県費補助1/2(妊婦健康診査支援補助金)</p> <p>4 事業効果 ①妊婦・乳児健康診査票の交付により、医療機関での十分な健康診査を受けることによって疾病の早期発見・早期治療で重症化を防止する。 ②専門医師による乳幼児健康診査により疾病の早期発見・早期治療ができる。また、保健指導によって健全な発育・発達の保持増進に努める。 ③幼児の健全な発育・発達を促し、健康の保持増進を図る。</p>												節	説 明	予算額(千円)	賃 金	看護師・歯科衛生士雇上	704	報 償 費	小児科医・歯科医・耳鼻科医謝礼	742	需 用 費	消耗品費	127	役 務 費	審査支払手数料等	348	委 託 料	健康診査委託料	19,374	扶 助 費	妊婦健診扶助費(償還払)	94	合 計		21,389
節	説 明	予算額(千円)																																	
賃 金	看護師・歯科衛生士雇上	704																																	
報 償 費	小児科医・歯科医・耳鼻科医謝礼	742																																	
需 用 費	消耗品費	127																																	
役 務 費	審査支払手数料等	348																																	
委 託 料	健康診査委託料	19,374																																	
扶 助 費	妊婦健診扶助費(償還払)	94																																	
合 計		21,389																																	

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	4	項	1	目	2	細事業名			予防接種事業費	所属	保健福祉課
目 名 称	予防費										
目 の 予 算 額	93,366					財源内訳					予算書頁
予 算 額	63,946 千円					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98・99
	前年度当初	89,485	前年度最終	84,618			6,802		33	57,111	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	------------

1 目 的 感染症の蔓延を予防し、公衆衛生の向上を図る。

2 事業概要

- ① 予防接種法による定期接種及び定期外予防接種を実施する。
- ② 実施方法は、広域実施医療機関での個別接種を基本とし、集団接種については、ポリオのみ実施する。
- ③ 対象者:乳幼児、小中高学生及び65歳以上の高齢者。
 ※麻疹排除計画:平成20年度から5年間の経過措置として中学1年・高校3年生相当の年齢の者に対し、
 予防接種法に基づき定期の予防接種を実施する。(H24年度は最終年度)
 ※平成23年度から日本脳炎予防接種は、9歳から10歳の者に積極的勧奨の再開となる。
 ※子宮頸がん予防、ヒブ(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン接種は個別接種で実施し、全額助成とする。
 ※0才～中学3年生までのインフルエンザワクチン接種者は個別接種で実施し、1人2,000円を助成する。

(定期の予防接種を行う疾病及びその対象者)

疾 病	対 象 者
百日ぜき ジフテリア 破傷風	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者 11歳以上13歳未満の者
急性灰白髄炎	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
麻しん・風 しん(MR)	生後12月から生後24月に至るまでの間にある者 5歳以上7歳未満の者で、小学校就学1年前から当該始期に達する前日までの者 中学1年・高校3年
日本脳炎	生後6月から生後90月に至るまでの間にある者 9歳以上13歳未満の者
インフルエンザ	65歳以上の者 60歳以上65歳未満の者であって、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するものとして厚生労働省令で定めるもの
BCG	生後6月に至るまでの間にある者

	対 象 者
子宮頸がん予防ワクチン	中学1年～高校1年
ヒブワクチン	生後2か月～5歳未満
肺炎球菌ワクチン	生後2か月～5歳未満

3 予算額

節	説 明	予算額(千円)
報 酬	委員報酬	40
賃 金	日々雇用職員賃金	36
報 償 費	謝礼及び謝金	156
旅 費	費用弁償	4
需 用 費	消耗品費	217
役 務 費	通信運搬費等	1,248
委 託 料	その他委託料	62,045
扶 助 費	扶助費	200
合 計		63,946

※子宮頸がん予防、ヒブ、肺炎球菌ワクチン接種は、国のワクチン接種緊急特例交付金により県補助1/2
 ※予防接種事業の消耗品の一部は国保二種交付金の対象となる。

4 事業効果

免疫効果を上げることにより、感染予防に努めることができる。

単位:千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業			所属	長寿社会課
目 名 称	老人福祉費										
目の予算額	1,144,475					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	18,942					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	82・83・85
										18,942	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実	

1 目的

長年にわたり、社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する。

2 事業内容

地域で行われる、高齢者を祝う行事にかかる経費の一部を助成する。

長寿祝金、敬老記念品を贈呈する。

	長寿祝金				敬老記念品			
対象者	満80歳、85歳、90歳、95歳及び100歳以上の者				喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)及び男女の最高齢者			
長寿祝金額	80歳	10,000円	85歳	15,000円	喜寿	3,000円	米寿	3,000円
及び	90歳	20,000円	95歳	30,000円	白寿	3,000円	最高齢	5,000円
敬老記念品額	100歳以上 50,000円							
支給日及び方法	9月末(現金、口座振込)				9月16日から9月末(商品券、郵送)			

3 予算額

18,942 千円

報償費 敬老記念品	1,558 千円
喜寿 305人 米寿 194人 白寿 17人 最高齢 2人	
消耗品 生花、額縁他	54 千円
印刷製本費 封筒印刷代	21 千円
役務費 郵便料	323 千円
助成金 地域敬老事業助成金	
4,691人 × 1,000円 = 4,691,000円	4,691 千円
扶助費 長寿祝金	12,295 千円
80歳 343人 85歳 233人 90歳 118人 95歳 52人 100歳以上 29人	

4 事業の効果

地域の敬老意識の高揚につながり、明るく豊かな長寿社会を築くことができる。

区分		平成24年度 当初		会計		一般会計					単位:千円																																
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費			所属	長寿社会課																																
目 名 称		障害者福祉費																																									
目の予算額		583,850				財 源 内 訳			予算書頁																																		
予 算 額	407,624				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	78・79・80																																	
	前年度当初	363,625	前年度最終	328,391	203,536	101,768			102,320	継 続																																	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実																																		
<p>1 目的 障害者の自立と活動への参加を促進し、必要な援助と保護により在宅者と入所・通所者の福祉の向上を図る。 介護給付・訓練等給付により、障害児・者の日々の生活を支援する。</p> <p>2 事業内容 障害者が施設・事業者と契約し、支給決定のサービス量に応じ自己負担をし、施設や事業所で支援を受ける。 在宅者については、自分に合ったサービスを事業所から受ける。 ※平成24年度から全ての施設・事業所が新体系移行される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所支援、生活介護支援等 ○ 重心施設から療養介護支援 ○ 訓練等給付（就労訓練、生活訓練、就労継続A型・B型） ○ ケアホーム（身体・知的・精神） ○ 精神障害者デイケア のびのび会 （事業は健康づくり係） ○ 身体、知的、精神障害者で在宅で生活をしている者 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護（身体介護・家事援助等） ・行動援護、同行援護等 ・短期入所 ・グループホーム（精神・知的） <p>3 予算額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">9 旅費</td> <td style="width: 65%;">精神障害者デイケア(のびのび会 郊外実習)</td> <td style="width: 15%;">1,000円×2人×2回</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">4千円</td> </tr> <tr> <td>11 需用費</td> <td>消耗品費 精神障害者デイケア(のびのび会 実習材料費)</td> <td>4,000円×5回分</td> <td style="text-align: right;">20千円</td> </tr> <tr> <td>12 役務費</td> <td>通信運搬費 インターネット回線料</td> <td>4,000円×12ヶ月=48,000円</td> <td style="text-align: right;">48千円</td> </tr> <tr> <td>13 委託料</td> <td>その他委託料 支援費給付事務委託料</td> <td>200円×200件×12ヶ月=480,000円</td> <td style="text-align: right;">480千円</td> </tr> <tr> <td>20 扶助費</td> <td colspan="3">・介護給付費・訓練等給付費・サービス利用計画書作成費 ・法改正による4月1日完全移行により、給付費については、大幅な増額と見込む。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">◎障害者自立支援給付費平成24年度総所要見込額</td> <td>407,071,605円</td> <td style="text-align: right;">407,072千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">補助率：国庫 1/2 ・ 県費 1/4</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: right;">当初予算額 407,624千円</td> </tr> </table> <p>4 事業の効果 障害者に必要な支援と保護により福祉の向上を図る事ができる。</p>												9 旅費	精神障害者デイケア(のびのび会 郊外実習)	1,000円×2人×2回	4千円	11 需用費	消耗品費 精神障害者デイケア(のびのび会 実習材料費)	4,000円×5回分	20千円	12 役務費	通信運搬費 インターネット回線料	4,000円×12ヶ月=48,000円	48千円	13 委託料	その他委託料 支援費給付事務委託料	200円×200件×12ヶ月=480,000円	480千円	20 扶助費	・介護給付費・訓練等給付費・サービス利用計画書作成費 ・法改正による4月1日完全移行により、給付費については、大幅な増額と見込む。			◎障害者自立支援給付費平成24年度総所要見込額		407,071,605円	407,072千円			補助率：国庫 1/2 ・ 県費 1/4					当初予算額 407,624千円
9 旅費	精神障害者デイケア(のびのび会 郊外実習)	1,000円×2人×2回	4千円																																								
11 需用費	消耗品費 精神障害者デイケア(のびのび会 実習材料費)	4,000円×5回分	20千円																																								
12 役務費	通信運搬費 インターネット回線料	4,000円×12ヶ月=48,000円	48千円																																								
13 委託料	その他委託料 支援費給付事務委託料	200円×200件×12ヶ月=480,000円	480千円																																								
20 扶助費	・介護給付費・訓練等給付費・サービス利用計画書作成費 ・法改正による4月1日完全移行により、給付費については、大幅な増額と見込む。																																										
◎障害者自立支援給付費平成24年度総所要見込額		407,071,605円	407,072千円																																								
		補助率：国庫 1/2 ・ 県費 1/4																																									
			当初予算額 407,624千円																																								

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計						単位:千円		
款	3	項	1	目	2	細事業名	相談支援事業費				所属	長寿社会課
目 名 称	障害者福祉費						財 源 内 訳				予算書頁	
目 の 予 算 額	583,850					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	78	
予 算 額	7,203									7,203	継 続	
	前年度当初	7,451	前年度最終	7,451								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実				
<p>1 目的 障害者自立支援法第77条地域生活支援事業(市町村必須事業)であり、障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言、その他の障害福祉サービスの利用支援又必要な支援を行うとともに、虐待の防止及び助言などその早期発見のために関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助(相談支援事業)を行う。</p> <p>2 事業内容 【白石町相談支援事業実施要綱】 ● 障害者自立支援法の地域生活支援事業の一つで市町の必須事業である。 ・障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を、相談支援事業の研修等を受けた専門員が対応する。 ・相談には、来所・電話・訪問等があり、より行き届いた支援を行う。 ・24時間365日対応ができる相談支援事業所とする。 ・専門相談員 2名配置</p> <p>3 予算額 【交付税対象】 ※白石町・江北町との共同設置として予算計上 13 委託料 障害者相談支援事業委託費 ○ 相談支援委託事業所 たちばな学園(県指定相談事業所) ○ 総事業費 10,540,883円 ○ 経費配分 均等割(20%) 1,054,000円 人口割(80%) 6,148,500円 ◎ 白石町負担額 7,202,500円 当初予算額 7,203千円</p> <p>4 事業の効果 障害児(者)からの相談に対し、より専門的なアドバイスや訪問による指導ができる。又、地域の関係機関との連携強化により、障害者等の自立と社会参加の促進を図る。</p>												

区分	平成24年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	4	項	1	目	3	細事業名	太陽光発電導入推進事業			所属	生活環境課	
目 名 称	環境衛生費						財 源 内 訳					
目 の 予 算 額	77,356					予 算 書 頁						
予 算 額	10,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101	
	前年度当初	5,000	前年度最終	10,965								10,000
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第 2 節				

1 目的

町民の環境に対する意識を高め、地球にやさしいまちづくりを行うため、地域の特性を生かした新・省エネルギーの導入促進を促す。
(地域新エネルギー導入促進事業)

2 事業内容

住宅用太陽光発電システム設置費補助

- ・ 白石町内の住宅に新たに太陽光発電システムを設置した個人が対象。
- ・ 太陽電池の出力が10kW未満で未使用品(中古品は対象外)が条件。
- ・ 1kWあたり3万円の補助が受けられ、上限額は10万円。
- ・ 予定件数は100件。

3 予算額

負担金・補助及び交付金 住宅用太陽光発電システム設置費補助金 100,000円 × 100件 = 10,000,000円

計 10,000千円

4 事業の効果

町民の環境に対する意識を高め、地域の特性を生かした地球にやさしいまちづくりに寄与することができる。

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	4	項	3	目	1	細事業名	水道事業会計への補助金				所属	水道課
目 名 称	上水道費											
目の 予 算 額	110,563						財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	88,602					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103	
	前年度当初	97,165	前年度最終	98,899					88,602	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			
<p>1 目的 町上水道事業会計の円滑な事業運営に資するため、必要な給水量確保や施設整備に係る経費等について、一般会計から適切な補助を行う。</p> <p>2 事業内容 ○上水道高料金対策補助金（自然条件等により建設改良費が割高のため資本費が高額となり、高水準の料金設定をせざるを得ない上水道事業について、料金格差の縮小に資するための補助） ○統合簡水償還補助金（統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良のために発行された企業債の元利償還金の一部に対する補助）</p> <p>3 予算額 ○上水道高料金対策補助金 白石 (180.96-166) × 1,108,376 = 16,581,305円 有明 (245.72-166) × 622,484 = 49,624,424円 小計 66,206千円 ○統合簡水償還補助金 元金 30,744,610円 ÷ 2 = 15,372,305円 利子 14,045,442円 ÷ 2 = 7,022,721円 小計 22,396千円 合計 88,602千円</p> <p>4 事業の効果 町上水道事業会計の円滑な運営及び経営健全化に資することにより、上水道の安定した供給体制を維持することができる。</p>												

単位：千円

区分	平成24年度 当初			会計	一般会計						
款	4	項	3	目	1	細事業名	上水道一部事務組合への出資事業			所属	水道課
目 名 称	上水道事業										
目の予算額	110,563					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	21,961					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103・104
	前年度当初	15,097	前年度最終	14,919						21,961	継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------

1 目的 上水道一部事務組合の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、一般会計から適切な繰出しを行う。

2 事業内容 【佐賀西部広域水道企業団】
 ○水道水源開発・広域化対策に係る平成元年度以前の企業団借入分の元利償還に対する繰出金
 ○企業団職員に係る子ども手当に要する経費に対する繰出金
 【西佐賀水道企業団】
 ○企業団職員に係る子ども手当に要する経費に対する繰出金

西佐賀水道企業団繰出金		佐賀西部広域水道企業団繰出金			合 計
子ども手当分	子ども手当分	水道水源開発・広域化対策元利償還繰出金			
		償還元金分	償還利息分	小 計	
83	83	19,158	2,637	21,795	21,961

【繰出基準】 元利償還分 昭和61年度から平成元年度までの事業費に係る国庫補助対象事業費の7/30相当額の償還元金に相当する額
 子ども手当分 地方公営企業職員に係る子ども手当のうち、3歳に満たない児童を対象とする給付に要する額から児童1人当たり7千円をの除いた額

4 事業の効果 上水道一部事務組合の円滑な運営及び経営健全化に資することにより上水道の安定した供給体制を維持する。